

Kyrgyzstan

～キルギス通信～ No.1

2017年3月8日
青年海外協力隊28年度1次隊
キルギス派遣/青少年活動
鳥取県/竹内詠子

Саламатсыздарбы? (サラマツスズダルブ?/キルギス語)

Здравствуйте! (ズトラーストヴィーチェ/ロシア語)

こんにちは。竹内詠子（たけうちえいこ）です。私もキルギスに来るまではキルギスのことを全く知らなかったですが、キルギス人は日本のことをとてもよく知っています。そして、日本のことが大好きと言ってくれる人々がとても多いです。だから、ぜひ日本の皆さんにもキルギスについて知ってほしいと思います。

キルギス共和国

人口 約600万人（日本の約20分の1）
面積 19万8,500平方キロメートル（日本の約半分）
首都 ビシュケク
国語：キルギス語
公用語：ロシア語

キルギスは昔、ソビエト連邦（ソ連）の一部でした。そのため、キルギス語ではなくロシア語を使うようになり、今ではキルギス国内で多くの人々がキルギス語とロシア語の両方を話せます。また、ロシアに働きに行く人も多いため、小さいころからロシア語を勉強するように、ロシア語で授業をするロシア語系の学校も多くあります。この学校の生徒たちは、家ではキルギス語、学校ではロシア語で話すことが多いです。そのため、キルギスではキルギス語とロシア語の両方が必要になります。



キルギスの伝統的な衣装

キルギス人は刺繍のたくさん施された伝統的な衣装を着て、トイ（パーティー）に行きます。

衣装は様々な色、デザインがあります。

また、帽子も非常に種類が多く、ロシア語、キルギス語は帽子の種類によって単語が異なるため、それになれていない日本人には覚えるのが大変です。その中でも男性がよく被るのは、カルパックという帽子です。ちなみに3月5日はこのカルパックの日、3月3日はキルギス国旗の誕生日でした。今年で25歳になったそうです。

キルギス流トイ（パーティー）

キルギス人はお祝い事（祝日）が大好きです。そしてその文化をととても大事にします。この写真は新年前に新年のお祝いのため、家でトイをしたときのものです。親戚を家に呼び、キルギス流コース料理を振舞います。テーブルの上にある料理が多いほど良いとされるそうです。最後の料理は馬の肉を茹でたものですが、部位によって、年長者から順に良い部分を振舞います。そして、出された食べ物はすべて、スーパーのレジ袋のようなものに入れてお土産として持って帰ります。日本だと有り得ないのですが、食べ物を無駄にしない精神が素晴らしいと思います。



キルギスの冬



キルギスの冬はとにかく寒いです。もうすぐ春が来るはずですが、待ち遠しくてたまりません。私の住んでいるところは、最低気温 -15 度、風が強く、なかなか雪が降りません。そのため、雪が降ると子どもたちは大喜びです。しかし今年には不思議と雪が多かったそうです。左の羊は私の通勤途中にいる羊です。キルギスは、町中に羊、牛、馬がたくさんいます。元々は遊牧民族だったため、みんな動物を育て、売ったり、食べたり、そういった生活をしていました。今でもそういう生活をしている人たちは少なくありません。キルギスには元々はクリスマスがありません。なぜならキルギスはイスラム教が大半だからです。しかしロシア正教の影響で、現在はクリスマスがあります。ロシア正教はサンタクロースに孫娘がいるそうで、クリスマスといえば、青い服の女の子が必ずいます。（写真）あと、なぜかニワトリのキャラクターもよく見ます。日本とは違ったクリスマスでした。私の町から2時間弱行くとナリン市があります。ナリン市はとにかく寒く、雪も多いです。そしてその雪景色はとてもキレイです。（写真）最低気温 -30 度にまでなるそうです。それではみなさん、クルスクンチュ！（キルギス語でさようなら）

